

第2回利賀地域義務教育学校設置協議会会議録（要点記録）

【日時】 令和4年10月19日（水）

【場所】 先進事例視察「岐阜県白川村立白川郷学園」

【出席委員】 成瀬 喜則 委員長 松本 謙一副委員長
笠原 一忠 委員 城岸 千秋 委員 須河紗也子 委員
高田 公美 委員 邑上 貴厚 委員 米倉 宗嗣 委員

【事務局員】 教育総務課長 氏家 智伸 教育総務課副参事 吉尾 徹
教育総務課主幹 山田 浩司 南砺市教育センター長 山田由紀子

【視察内容】 10：00 白川郷学園概要説明
10：30 授業参観 校舎内視察
11：10 質疑応答
11：30 視察終了

【白川郷学園説明会での質疑応答】

委員A 学年教室と教科教室があったがどのように使い分けているのか。

白川郷学園 学級活動、総合的な学習の時間、朝の会、帰りの会、道徳、給食等は学年教室で行い、そのほかは教科室で授業、活動をしている。

委員B 部活動について、地域移行の完全実施に向けてどのような進捗状況か。

白川郷学園 男女バレー部、柔道、陸上競技、卓球の各種目で地域移行を進めている。指導員を確保するため探している。一つの部活動に3人の顧問を配置している。部活動は、後期課程のみ参加している。現在は、平日の部活動を行っていない。土曜日のみ部活動を行っている。冬期間は部活動をしていない。

委員C 学校協議委員会の内容、構成、活動について教えてほしい

白川郷学園 学校支援部、地域活動部、家庭サポート部の3つの部会があり、一つの部会に部員を5～6名配置している。各地域から2名ずつ参加している。リーフレットの5～6ページに簡単に活動について紹介している。

各部会は、学校の教育活動にかなり踏み込んで活動している。子供のため、村のためにと強い思いを委員の方は持っている。

委員D 学校協議委員会は、コミュニティスクール化によるものであるか。

白川郷学園 開校時の社会教育主事が、村民学、FA（ふるさとアドバイザー）の確保など、精

力的に動いたおかげで、今の学校協議委員会の活動が軌道に乗った。

委員E 通学方法や距離は、どのような状況か。

白川郷学園 2～2.5 kmの距離までは、徒歩通学である。朝は、バス通学の児童は約1 km離れた村役場で下車し、学校まで歩いている。下校バスは、低・中・高の3つのブロックに分けて3便、運行している。土曜日の部活動には、スクールバスを運用している。

【移動車中での協議】

委員A 子ども、親の意見を聞くためのアンケートが必要だと思うが、どのように進めていけばよいか検討が必要である。

委員B 制服、校歌などいろいろな内容について決める必要があるが、いつまで決めなければいけないのか、また、校歌の作成をいつごろまで依頼すれば間に合うのか等、スケジュール的なものを知りたい。それに合わせて検討していきたい。

委員C 学校名については、地域づくり協議会で公募したいと考えている。

事務局 校名については、〇〇学舎、〇〇学園などがあり、どのような基本線が必要なのかを南砺市教育委員会内で確認し、地域アンケートを取る前にお知らせしたい。第3回の協議会ではできるだけ早く開催したい。